



写真上：ダークな色調の天然板を配した天井のあしらいや重厚感のある家具やソファが、クラシカルな空気を醸す書斎。ガレージハウスのスタイルを採用し、所有するヴィンテージカーを眺めながら寛げる至福の空間だ。写真下：都会の街並みに整然と並ぶ列柱が緑園を引き立て、喧騒から邸宅を隔離する。内側には静寂を感じる青々とした緑が豊かな暮らしを形づくる



この見開きページの写真は同じ邸宅のもの。日中は北側の大開口よりやわらかな光が室内を包み、夜はシャンデリアが煌びやかな光を放つ。時の移ろいと共に出会う多彩な光に満たされる邸宅だ。上の写真はリビングルーム。ライトアップされたアクセントウォールのクオーツやシャンデリアが瞬き、緻密に設計された照明計画が活きる華麗な夕景。空の色もインテリアの一つとして取り込むダイナミックな設計だ



アーネストアーキテクツ株式会社

世界水準のハイセンスな建築デザインを手掛ける
正真正銘のプロフェッショナル

建築設計事務所として、高品質な高級住宅を中心、リゾート施設、外国公館、ホテル、店舗、オフィス等、幅広い建築分野において高い提案力を誇る（アーネストアーキテクツ株式会社）は、リノベーション・施工・インテリアデザインまでトータルで手掛け「アーネストグループ」の一翼を担うプロフェッショナル集団として、その設計力が国内外に広く注目される存在だ。

既成の概念に捉われることのない自由かつ斬新な発想力によるダイナミックな設計を目指し、まず、ファーストプランニングを専門に行う「コンセプトデザイナー」と、建築物としての完成度を高めお客様と一緒に作品『その家族らしい家』を仕上げる専任設計士「ディレクトデザイナー」による分業制を採用している。それは、発想から実施設計までをひとりのデザイナーが手掛けると、結果として作風が似通ってしまう傾向があるからで、各分野のプロフェッショナルがプロジェクト毎に組み合わせを変え、自由度を高める。そうすることで、多彩な個性が混ざり合い、さらに互いが刺激しあい、クライアントが想像する以上の作品を仕上げることができる。さらにアーネストグループ内の他部門から情報を常に共有し、素材や造形をはじめとした機能設計がプラットフォームアップされ、常に新しいチャレンジを可能としている。そして長年の実績によって世界各国のインテリアメーカーとの提携を行うことでコストを抑え、デザインの幅を広げ、インテリアの視点からも住宅の完成度が高められている点にも注目していただきたい。

「高級住宅とは単にお金をかけた空間ではなく、豊かな暮らしができる住まい」。万人向けではなく、その家族だけの家。住む人の暮らしが豊かになり、人生の豊かさにつながる建築設計を（アーネストアーキテクツ株式会社）なら叶えてくれる。



幼き日の夢や憧れを昇華されたデザインと機能性で叶えた邸宅。写真上段・下段左上：海底をイメージした地下2階の吹き抜けのシアタールームはダークカラーを使った「暗」の空間。海底から水面を見上げるような空間構成に仕上げている。写真下段右：シアタールームにはバーコーナーを設置。光を透過して輝くガラスの棚板が光のラインを描く。クラゲの形をしたペンダントライトがチャーミングだ。写真下段左下：バスタブの上のトップライトから光を受け、雲の中を浮遊しているかのようなバスルーム。雲を模したステップや照明もすべて同社のデザインによるものだ



エントランスに入ると、白い空間に差し込む光とフレッシュなグリーンが目を奪う。都心の住宅街とは思えない安息の地。人気ミュージシャンのMVにも使用された。写真左：リビングから回遊するように波打つ壁面。円形に切り取られたトップライトから水面に落ちた光が美しく煌めく。写真下：オリーブの美しい枝葉、滝とリンクする植栽、水面のせせらぎ等、都心とは思えない景色が広がる中庭



緩やかなアールを描く外観と、シンクロするように沿う外壁が視線と騒音をカット。デザイン性とプライバート性を両立している。空間を贅沢に使った2層吹抜けのリビングは、一般的に黒色を用いることが多いアイアンをシャンパンゴールドに塗装し、この邸宅に相応しい優雅で洗練されたイメージを演出している



写真上段3枚：モダンな意匠の中に和の感性を取り入れた邸宅。和室の入口は「にじり口」となっており、続く露地が和室への期待感を高める。実はこの和室は地下にある。だが、ドライエリアに離れを配し、庭園に植えられた紅しだれやダイナミックなガラス窓の広がりによって遠近感が生まれ、地下であることを忘れさせる風雅な空間が演出されている

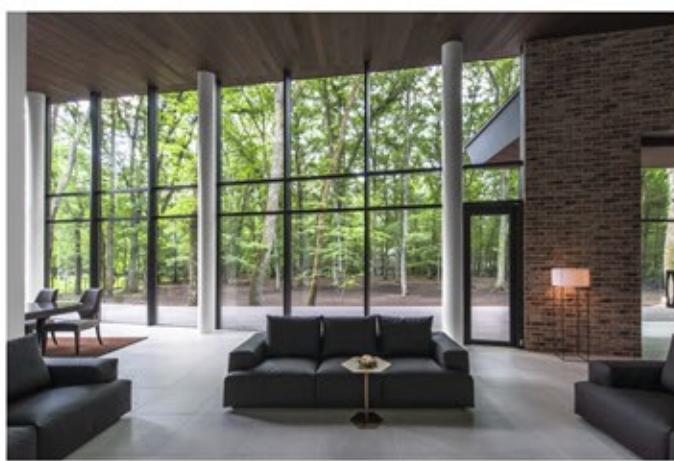


翼を広げた鳥をモチーフにした外観が木立の中に悠然とその姿を現す。広大な庭を一望できる天井高7mの贅沢な空間は、南側が全長11mの大開口になっているため、まるで森の中にリビングがあるような錯覚を見るボーダレスな空間となっている。自然との一体感を生む週末住宅だ

お問い合わせ

- 0120-332-363
- 住／東京都港区芝5-5-1 ラウンドクロス三田
- 営／9:00～18:00
- 休／お盆、年末年始
- <https://earnest-arch.jp>
- 設計・監理エリア
・全国(海外も対応可能)

※詳細につきましてはお問い合わせください



写真下段2枚：ダイナミックな3次元曲線のアールの壁は、設計時の3D図面と寸分たがわぬ出来栄えに。壁はアプローチに立った際に、外部からの視線を遮る役割も。アプローチとエントランスのアールの壁ヘップライトから光が降り注ぎ、美術館を訪れたような美しいデザインに圧倒される